

事業概要

令和5年度

千葉市こころの健康センター

目 次

I 概要	1
1 沿革	2
2 業務の概要	2
3 職種別職員構成	3
4 施設の位置及び平面図	3
5 歳出決算	4
II 業務実績	5
1 企画・立案	6
2 技術指導・技術援助	8
(1) 要保護児童対策及びDV防止地域協議会・実務者会議	8
(2) 各区保健福祉センター健康課に対する支援	8
(3) ひきこもり地域支援センター、千葉市子ども・若者総合相談センターLinkに 対する支援	8
(4) 千家連等のボランティア活動支援等で随時対応	8
(5) 千葉市精神科病院実施指導	8
(6) 市民後見人養成研修	8
(7) 保護観察所の依存症・回復プログラムに対する支援	8
(8) 薬物事犯引受人会	8
(9) 多職種連携会議	8
3 教育研修	9
(1) 精神保健福祉業務新任者研修	9
(2) こころの電話相談員研修	9
(3) 講師派遣	9
4 普及啓発	11
(1) 精神保健福祉ボランティア講座	11
(2) 講演会	12
① 児童・思春期精神保健福祉講演会	12
② 地域精神保健福祉講演会	12
(3) 精神障害者家族のつどい	13
(4) 精神障害者の明るくらし促進事業	14
(5) 地域精神保健福祉セミナー	14
(6) 精神障害者スポーツ大会	14
① 精神障害者ソフトバレーボール大会	14
② 精神障害者卓球大会	14
(7) 心のふれあいフェスティバル	15
(8) パンフレット及び冊子の配布	15
5 調査研究	16
(1) 関係協議会等	16
(2) 図書の見学・貸出	16
① 蔵書数	16
② 貸出実績	16
6 精神保健福祉相談	17
(1) 精神保健福祉相談	17

①相談件数	17
②本人の年齢・男女別分類件数	17
③相談者と本人の続柄別分類件数	17
④援助内容別件数	17
⑤所要時間別件数	17
⑥相談種類別件数	18
(2) こころの電話	19
①相談件数	19
②援助内容別件数	19
③所要時間別件数	19
④相談経路別件数	19
⑤各区分別件数	19
⑥相談種別件数	20
7 組織育成	21
(1) 千葉県こころのボランティア・あおばへの活動支援	21
①千葉県こころのボランティア・あおばの活動経緯	21
②千葉県こころのボランティア・あおばの活動実績	21
③活動への支援	21
(2) 施設利用の援助	21
8 精神医療審査会の審査に関する事務	22
(1) 定期病状報告等の審査件数	22
(2) 退院等請求の審査件数	22
(3) 合議体別審査件数	22
9 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院医療）	23
(1) 精神障害者保健福祉手帳の判定結果	23
(2) 自立支援医療費（精神通院医療）の判定結果	23
10 うつ・自殺予防	24
(1) 対面型相談支援事業（うつ病集団認知行動療法）	24
(2) 人材育成事業	24
①ゲートキーパー養成研修	24
②子ども・若者メンタルヘルス研修	25
(3) 普及啓発	25
①うつ病対策講演会	25
②自殺予防リーフレット	25
(4) うつ病当事者の会	25
11 依存症対策	26
(1) アルコール・薬物関連精神保健福祉相談	26
(2) ギャンブル等依存症相談	26
(3) 依存症支援者教育研修	26
(4) 普及啓発	27
①依存症講演会	27
(5) 当事者や家族を対象としたもの	27
①アルコールミーティング	27
②依存症治療・回復プログラム	27

I 概 要

1 沿革

平成11年の「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」の改正により、都道府県及び政令指定都市は、平成14年度より「精神保健福祉センターを設置することができる」から「精神保健福祉センターを置くものとする」となった。

このため、本市では精神保健福祉センター開設の準備を進め、名称を「こころの健康センター」と定め、平成13年7月に開設した。また、平成21年10月より現施設での業務を開始した。

2 業務の概要

市民の心の健康の保持増進、心の健康に関する知識の普及、精神障害者の人権に配慮した、より良い精神医療の確保や社会復帰等の保健福祉の増進などを図るため、本市の精神保健福祉活動推進のための中核施設として次の業務を行う。

【企画・立案】

専門的立場から、精神保健福祉施策を推進するための企画・立案を行う。

【技術援助・技術指導】

地域で精神保健福祉活動を担っている保健所・保健福祉センター等の関係機関に対し、専門的立場から助言指導を行う。

【教育研修】

保健所・保健福祉センター、社会復帰施設その他の関係機関で精神保健福祉業務にたずさわっている職員に対して、専門的資質の向上のための研修を行う。

【普及・啓発】

心の健康に関する知識の普及と精神障害についての正しい理解のため、各種講演会・講座の開催、パンフレットの発行等を行う。

【調査研究】

精神保健福祉に関する資料の収集、統計及び調査を実施する。

【精神保健福祉相談】

専門医等により、予約制で相談を行う。

- ・不登校やひきこもり等の児童・思春期に起きる問題に関する相談
- ・アルコールや薬物等の依存に関する相談
- ・高齢期の精神的健康に関する相談
- ・ギャンブル等依存に関する相談

精神保健福祉士、精神保健福祉相談員等により、随時、精神保健福祉相談を行う。

専門員による傾聴専用の『こころの電話』を設ける。

【組織育成】

ボランティア組織、家族会、当事者の会、協力事業所その他精神保健福祉に関する団体等の活動を支援する。

【精神医療審査会の審査に関する事務】

精神医療審査会の開催事務及び審査遂行上必要な調査、その他当該審査会の審査に関する事務を行う。

【自立支援医療費公費負担及び精神障害者保健福祉手帳の判定】

自立支援医療費（精神通院医療）公費負担及び精神障害者保健福祉手帳の申請に対する判定業務を行う。

3 職種別職員構成

	医師	精神保健 福祉士	保健師	心理 判定員	福祉職	事務職	計
常勤	1	1	1	1	1	2	7
非常勤		1				2	3
計	1	2	1	1	1	4	10

4 施設の位置及び平面図

【所在地】

〒261-0003 千葉市美浜区高浜2-1-16

TEL 043(204)1582 FAX 043(204)1584

メールアドレス kokoronokenko.HWS@city.chiba.lg.jp

ホームページ <https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/kokoronokenko/>

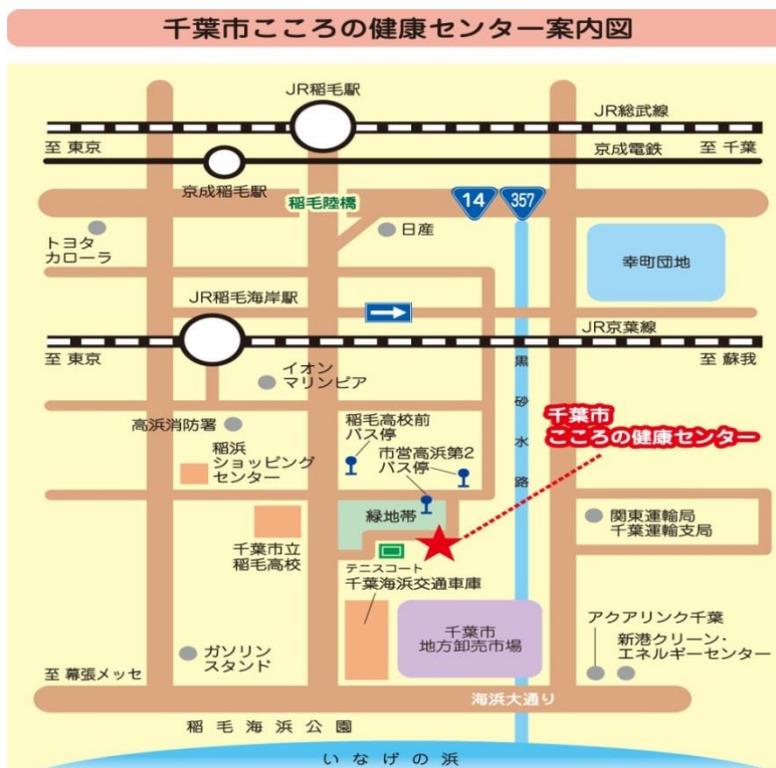
【利用交通機関】

○JR総武線稲毛駅西口より海浜交通バス利用

駅前3番のりば「JR稲毛海岸駅」行き（運輸支局入口経由）で「市営高浜第2」下車徒歩3分

○JR京葉線稲毛海岸駅南口より海浜交通バス利用

駅前3番のりば「JR稲毛駅」行き（運輸支局入口経由）で「市営高浜第2」下車徒歩3分



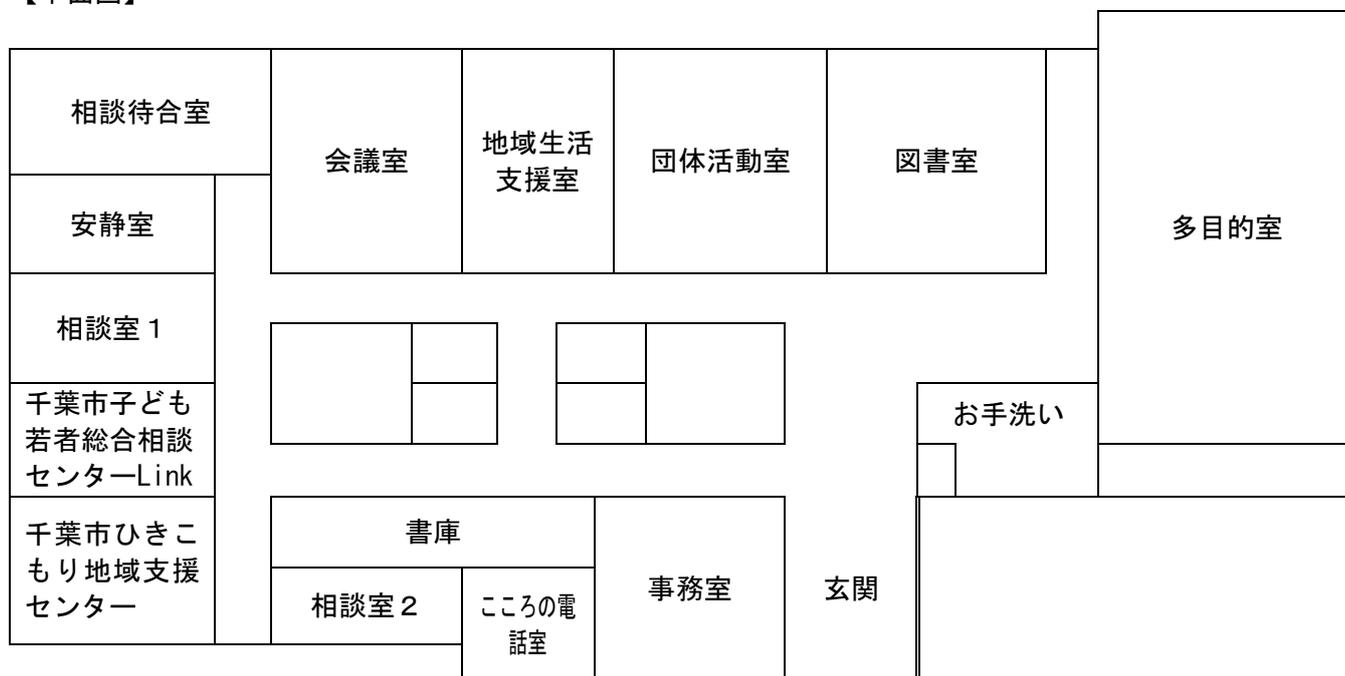
【施設規模】

鉄骨造平屋建

敷地面積：3,500.01㎡

延床面積：1,024.80㎡

【平面図】



5 歳出決算

(単位：円)

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
報 酬	7,691,400	8,283,600	8,213,400
共 済 費	12,614	11,723	12,000
報 償 費	1,037,000	1,355,000	1,546,000
旅 費	15,233	47,020	121,561
需 用 費	2,227,956	3,053,439	3,048,449
役 務 費	1,068,805	1,080,920	1,197,231
委 託 料	7,351,016	7,867,443	8,383,280
使用料及び賃借料	265,969	269,696	375,596
備品購入費	—	—	—
負担金、補助及び交付金	95,000	107,000	107,000
公 課 費	8,800	8,800	—
合 計	19,773,793	22,084,641	23,004,517

Ⅱ 業務実績

1 企画・立案

地域精神保健福祉を推進するため、精神保健福祉関連施策に関する会議に出席し、専門的立場から提案等を行った。

会議名称	実施主体
全国精神保健福祉センター長会・大都市部会	全国精神保健福祉センター長会
全国精神保健福祉センター長会定期総会	全国精神保健福祉センター長会
全国精神保健福祉センター研究協議会	全国精神保健福祉センター研究協議会
全国精神保健福祉センター長会議	全国精神保健福祉センター長会
全国精神保健福祉センター所長・全国精神医療審査会長会議	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部精神・障害保健課
関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会	関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会
全国精神医療審査会連絡協議会総会	全国精神医療審査会連絡協議会
全国精神医療審査会長・精神保健福祉センター所長会議	全国精神医療審査会連絡協議会
都道府県等依存症専門医療機関・相談員等全国会議	依存症対策全国センター
関東信越地区薬物中毒対策連絡会議	厚生労働省医薬局 監視指導・麻薬対策課
千葉県・千葉市依存症対策連携会議(ギャンブル等依存症)	千葉県こころセンター 千葉市こころの健康センター
千葉県・千葉市依存症対策連携会議(アルコール健康障害)	千葉県こころセンター 千葉市こころの健康センター
薬物依存症対策地域連携協議会	千葉県こころセンター 千葉保護観察所 千葉市こころの健康センター
千葉県ギャンブル等依存症対策推進協議会	千葉県障害者福祉推進課
千葉県医療観察制度運営連絡協議会	千葉保護観察所

千葉県人身安全関連事案連絡会議	千葉県警察本部人身安全対策課
千葉県人身安全関連事業連絡会議 ストーカー対策分科会	千葉県警察本部人身安全対策課
千葉県運営適正化委員会苦情解決部会	千葉県運営適正化委員会
精神科病院長会議	千葉県障害者福祉推進課 千葉市精神保健福祉課
精神保健指定医会議	千葉県障害者福祉推進課 千葉市精神保健福祉課
千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築 推進連携会議	千葉市精神保健福祉課
千葉県自殺対策連絡会議	千葉県健康福祉部健康づくり支援 課
千葉市自殺対策連絡協議会	千葉市精神保健福祉課
千葉市自殺対策庁内連絡会議	千葉市精神保健福祉課
自殺対策相談窓口会議	千葉市精神保健福祉課
千葉市精神保健福祉審議会	千葉市精神保健福祉課
地域共生社会推進事業部地域力向上班関係課長会議	千葉市地域福祉課
千葉市地域自立支援協議会	千葉市障害福祉サービス課
千葉市健康づくり推進協議会地域・職域連携推進部会	千葉市健康支援課
千葉市子ども・若者支援協議会代表者会議	千葉市健全育成課
千葉市子ども・若者支援協議会実務者会議	千葉市健全育成課
千葉市障害者施策推進協議会	千葉市障害者自立支援課
教職員のメンタルヘルス対策に関する調査研究事業に係 る関係者会議	千葉市教育委員会教育総務部教育 給与課

2 技術指導・技術援助

地域で精神保健福祉活動を担っている保健所・保健福祉センターなどの関係機関に対し、専門的立場からの助言指導を行った。

(1) 要保護児童対策及びDV防止地域協議会・実務者会議

各区保健福祉センターの会場で、こども家庭課主催で実施された会議に7回出席した。

(2) 各区保健福祉センター健康課に対する支援

各区保健福祉センター健康課の精神保健福祉業務担当者が、業務を円滑に行うことが出来るように、健康課主催の担当者会議及び主査会議等に6回出席した。

また、健康課や関係機関が実施する個別ケース検討会議等に18回出席した。

(3) ひきこもり地域支援センター、千葉市子ども・若者総合相談センターLinkに対する支援

相談スキルの向上・処遇方針決定のために、ケース会議に8回出席した。

(4) 千家連等のボランティア活動支援等で随時対応

精神障害者への個別支援や精神障害者を支援する関係機関職員に、スキルの向上を促すため技術指導・技術援助（助言）を18回実施した。

(5) 千葉市精神科病院実施指導

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第38条の6（報告徴収等）に基づき、千葉市精神科病院実地指導に8回同行した。

(6) 市民後見人養成研修

千葉市社会福祉協議会が実施する「市民後見人養成研修」に出席し、「精神障害の理解」について講演を行った。

(7) 保護観察所の依存症・回復プログラムに対する支援

保護観察所で行う依存症・回復プログラムの支援を3回実施した。

(8) 薬物事犯引受人会

保護観察所が主催する薬物事犯引受人会に出席し、薬物事犯の引受人及びその家族に対して助言を行った。

(9) 多職種連携会議

精神障害者支援機関が開催する多職種連携会議に出席し、支援員に助言を行った。

3 教育研修

保健所・保健福祉センター、医療機関等の関係機関で精神保健福祉業務に携わっている職員に対して、研修を行うことにより資質の向上を図った。

(1) 精神保健福祉業務新任者研修

精神保健福祉の直接業務に携わる職員が、担当業務を安心して行えるように、必要な知識と技術の向上を図ることを目的とした研修を精神保健福祉課と各区健康課と合同で実施した。

年月日	テーマ	講師	参加者数
R5. 4. 21	精神保健福祉事業及び予算概要等	精神保健福祉課	9名
	こころの健康センター業務 ・ 審査会や判定会、講演会等	こころの健康センター	
	相談業務 ・ 相談対応や受療援助に係る基礎 ・ 6区健康課協力実施事業 ・ 心のふれあいフェスティバルや担当者会議、統計等	健康課 こころの健康センター	

(2) こころの電話相談員研修

こころの電話相談員を対象に、傾聴や支援のポイントについて学ぶことを目的とした研修を実施した。

年月日	テーマ	受講者	講師	参加者数
R5. 10. 23	こころの電話相談の対応について	こころの電話相談員	こころの健康センター 所長 稲生 英俊	6名

(3) 講師派遣

他機関からの依頼に応じ、講義などを行った。

年月日	テーマ	受講者	講師	参加者数
R5. 5. 25 5. 26	精神障害の基礎知識	生活保護関係職員 新任地区担当員研修	こころの健康センター 所長 稲生 英俊	R5. 5. 25 23名 5. 26 19名
R5. 7. 11	こころの健康センターの業務の現状・連携について	児童相談所、各区 こども家庭課、養護 教育センター職員	こころの健康センター 主任心理判定員 末原 有紀	46名

R5. 9. 30	8050 問題とスティグマ ～なぜ支援を 拒否するのか～	市民	こころの健康センター 所長 稲生 英俊	152名(会場 88名、オン ライン64名)
R5. 11. 18	千葉市の依存症対策と千葉 ダルクとの連携	依存症当事者と家族 関係機関、支援者	こころの健康センター 所長 稲生 英俊	310名
R5. 11. 25	「みんなで考えてみよう！ 地域生活ってどういうこ と？～地域での暮らしを支 えるために私たちができる こと～」	地域住民、当事者、 当事者家族など	こころの健康センター 所長 稲生 英俊	41名(会場 24名、オン ライン17名)

4 普及啓発

心の健康に関する知識の普及と精神障害についての正しい理解のため、市民を対象に各種講演会・講座を開催した。

(1) 精神保健福祉ボランティア講座

精神保健福祉に関する理解を深めるとともに、精神保健福祉ボランティアとして活動できる人材の育成を図るため、ボランティア講座をこころの健康センターにおいて開催した。

年月日	テーマ	講師	参加者数
1回目 R5. 9. 5	ボランティアの心構えとボランティアセンターの役割 ボランティア活動を通して思うこと	千葉県ボランティアセンター 千葉県こころのボランティア・あおば	10名
2回目 R5. 9. 19	精神科疾患の基礎知識	こころの健康センター 所長 稲生 英俊	9名
3回目 R5. 10. 10	精神障害を持って地域で生きる人たちの姿を知る ～私たちにできること～	千葉県総合救急災害医療センター 主任看護師 山本 一哉	6名
4回目 R5. 10. 24	災害時における精神障害を持つ人への関り	レジリエ訪問看護ステーション 管理責任者 看護師 SST普及協会認定講師 西條 可奈	9名
5回目 R5. 11. 7	地域生活の実際とボランティアに望むこと 家族の立場からの思いとボランティアに望むこと 精神保健福祉ボランティア講座の振り返りと今後について 終了式	社会復帰施設の利用者 特定非営利活動法人 千家連	7名

計5回 参加者 実数11名 延べ人数41名

(2) 講演会

① 児童・思春期精神保健福祉講演会

子どもの心の問題への理解を深め、適切な対応と援助について考える機会とすることを目的とした講演会をこころの健康センターにおいて開催した。

年月日	テーマ	講師	参加者数
R5. 12. 12	児童・思春期の心の理解と支援	千葉県こころセンター 精神科医 石川 真紀	41名

② 地域精神保健福祉講演会

心の健康に関する知識と精神障害の正しい理解についての普及啓発を目的とした講演会をこころの健康センターにおいて開催した。

年月日	テーマ	講師	参加者数
R5. 7. 27	家族が元気になるために	Office 夢風舎 フリーランス&ソーシャルワーカー 土屋 徹 千葉県精神障害者家族会連合会 ファーム栗の木家族会 貴井 信夫	50名

*内訳：精神保健福祉実務研修2名、社会復帰施設等職員研修11名、市民37名

年月日	テーマ	講師	参加者数
R5. 9. 11	基幹相談支援センターについて	千葉市中央区障害者基幹相談支援センター 管理者 伊藤 佳世子	64名

*内訳：精神保健福祉実務研修13名、社会復帰施設等職員研修13名、市民38名

年月日	テーマ	講師	参加者数
R5. 11. 28	基礎から分かる精神障害① ～気分障害と統合失調症～	千葉県総合救急災害医療センター 精神科医 田久保 隆介	63名

*内訳：精神保健福祉実務研修5名、社会復帰施設等職員研修23名、市民35名

年月日	テーマ	講師	参加者数
R6. 1. 24	基礎から分かる精神障害② ～依存症、認知症、発達障害など～	こころの健康センター 所長 稲生 英俊	48名(会場41名、オンライン7名)

*内訳：精神保健福祉実務研修5名(他オンライン3名)、社会復帰施設等職員研修19名(他オンライン4名)、市民17名

(3) 精神障害者家族のつどい

精神障害者の家族を対象に、家族 SST（社会技能訓練）や、精神疾患、就労、福祉制度等に関する講演会及び家族同士の情報交換及び相互交流を目的とした話し合いを、こころの健康センターにおいて実施した。

家族 SST（社会技能訓練）：偶数月

講演会と家族ミーティング：7月、9月、11月、1月

年月日	テ ー マ	講 師	参加者数
R5. 4. 17	第 1 回家族 SST（社会技能訓練） 家族が元気になるために 目指すは「家族自身もリカバリー」	Office 夢風舎 フリースタッフ&ソーシャルワーカー 土屋 徹	10名
R5. 6. 19	第 2 回家族 SST（社会技能訓練） 家族が元気になるために 目指すは「家族自身もリカバリー」	Office 夢風舎 フリースタッフ&ソーシャルワーカー 土屋 徹	16名
R5. 7. 27	家族が元気になるために	Office 夢風舎 フリースタッフ&ソーシャルワーカー 土屋 徹 千葉県精神障害者家族会連合会 ファーム栗の木家族会 貴井 信夫	市民37名 家族ミーティング20名
R5. 8. 21	第 3 回家族 SST（社会技能訓練） 家族が元気になるために 目指すは「家族自身もリカバリー」	Office 夢風舎 フリースタッフ&ソーシャルワーカー 土屋 徹	10名
R5. 9. 11	基幹相談支援センターについて	千葉県中央区障害者基幹相談支援センター 管理者 伊藤 佳世子	市民38名 家族ミーティング8名
R5. 10. 16	第 4 回家族 SST（社会技能訓練） 家族が元気になるために 目指すは「家族自身もリカバリー」	Office 夢風舎 フリースタッフ&ソーシャルワーカー 土屋 徹	10名
R5. 11. 28	基礎から分かる精神障害①	千葉県総合救急災害医療センター 精神科医 田久保 隆介	市民35名 家族ミーティング11名
R5. 12. 18	第 5 回家族 SST（社会技能訓練） 家族が元気になるために 目指すは「家族自身もリカバリー」	Office 夢風舎 フリースタッフ&ソーシャルワーカー 土屋 徹	13名
R6. 1. 24	基礎から分かる精神障害②	こころの健康センター 所長 稲生 英俊	市民17名 家族ミーティング8名
R6. 2. 19	第 6 回家族 SST（社会技能訓練） 家族が元気になるために 目指すは「家族自身もリカバリー」	Office 夢風舎 フリースタッフ&ソーシャルワーカー 土屋 徹	5名

参加者合計：家族 SST（社会技能訓練）64名 講演会127名 家族ミーティング47名

(4) 精神障害者の明るいくらし促進事業

精神保健及び精神障害者福祉に関し、地域の実情に応じたきめ細やかな施策を実施することにより、精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図ることを目的とし、特定非営利活動法人千家連に委託し実施した。

年月日	事業名	会場	参加者数
R5. 9. 27	ディライトフル・フェスタ	YohaS アリーナ～本能に、感動を。～ (千葉公園総合体育館)	95名
R5. 11. 6	ふれあいボウリング大会	アサヒボウリングセンター	49名
R6. 2. 18	こころの健康教室	ハーモニープラザ	73名
R6. 3. 17	スプリングフェスティバル	ハーモニープラザ	129名

(5) 地域精神保健福祉セミナー

精神障害者、その家族及び地域住民との交流を図り精神保健福祉に関する正しい知識の普及を図ることを目的とし、特定非営利活動法人千家連に委託し実施した。

年月日	事業名	内容	参加者数
R5. 7. 21	音楽セミナー	みんなが元気になるために ～みんなで集う～	32名
R5. 10. 11	研修セミナー	施設見学 NPO 法人生活自立研究所 (富浦市)	46名

(6) 精神障害者スポーツ大会

精神障害を有する選手が、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、市民の障害に対する理解を深め、精神障害者の社会参加の推進ならびに精神障害者のスポーツ振興に寄与することを目的に実施した。

①精神障害者ソフトバレーボール大会

一般社団法人千葉県障がい者スポーツ協会に委託し、実施した。
令和5年12月7日(木) 参加チーム：2チーム 参加者数：20名

②精神障害者卓球大会

一般社団法人千葉市身体障害者連合会に委託し、実施した。
令和5年5月14日(日) 参加者数：21名

(7) 心のふれあいフェスティバル

精神障害者に文化活動の場を提供し、障害者相互及び障害者と地域住民との交流を図ることを目的とし、特定非営利法人千葉県精神保健福祉協議会に委託し、実施した。

令和5年4月26日（水）実施 参加者数：321名

(8) パンフレット及び冊子の配布

こころの健康センター案内パンフレット及び心の健康に関する様々な種類の冊子を関係機関及び市民へ配布した。

5 調査研究

精神保健福祉に関する資料の収集、統計及び調査を実施し、関係協議会での意見交換を実施した。また、研究の一助として精神保健福祉に関する図書の閲覧・貸出を行った。

(1) 関係協議会等

関連団体名	活動内容
全国精神保健福祉センター長会	精神保健福祉センターの事業及び運営の向上に関することや連携に関して協議する。
全国精神保健福祉センター研究協議会	全国の精神保健福祉センターの研究の方向性について協議する。
全国精神保健福祉センター大都市部会	政令指定都市が抱える特有の諸課題について、協議、情報交換を行う。
関東信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会	関東信越地域の精神保健福祉センター相互の連携を深め、精神保健福祉に関する諸問題を多面的に討議し、各センター事業の充実に資する。

(2) 図書の閲覧・貸出

調査・研究の一助として、精神保健福祉に関する図書の閲覧・貸出及び、DVDの館内視聴を行った。

① 蔵書数

4,055冊

② 貸出実績

\	令和3年度	令和4年度	令和5年度
冊数	200冊	267冊	100冊
実人数	40名	47名	24名
延人数	82名	111名	44名

6 精神保健福祉相談

(1) 精神保健福祉相談

嘱託医等による、アルコール・薬物関連精神保健福祉相談、思春期精神保健福祉相談、高齢者精神保健福祉相談、複雑困難事例への精神保健福祉相談を毎月、予約制で実施した。

また、上記相談に関わるインテークを職員が随時実施した。

① 相談件数

(単位:件)

実数	延数	延数内訳			
		電話	来所	医師	手紙・メール・FAX
1,791	2,375	2,193	92	79	11

② 本人の年齢・男女別分類件数

ア) 年齢別

(単位:件)

0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明	合計
71	200	139	181	132	139	82	76	38	1,317	2,375

イ) 男女別

(単位:件)

男	女	不明	合計
1,135	1,114	126	2,375

③ 相談者と本人の続柄別分類件数

(単位:件)

本人	家族	その他	合計
1,465	750	160	2,375

④ 援助内容別件数

(単位:件)

来所予約	他機関紹介	助言・回答・説明・傾聴	合計
286	983	1,106	2,375

⑤ 所要時間別件数(実数分)

(単位:件)

10分未満	10～29分	30～59分	60分以上	合計
1,424	732	214	5	2,375

⑥ 相談種別件数

相談種別	延べ件数
児童・思春期に関する相談	257
高齢期に関する相談	129
依存症に関する相談	37
アルコール依存症に関する相談	153
薬物に関する相談	103
ギャンブルに関する相談	182
ネット・ゲーム依存症に関する相談	8
社会復帰に関する相談	270
こころの健康づくりに関する相談	624
うつ病に関する相談	82
一般精神保健福祉相談	387
その他	143
合 計	2,375

相談種別の再掲

相談種別	延べ件数
ひきこもり	83
発達障害	99
自殺関連	156
(自殺遺族)	3
犯罪被害	66
災害被害	0
DV 相談	71

(2) こころの電話

こころの健康づくり推進事業の一環として、専門員による傾聴専用電話【こころの電話】
《専用電話番号：043-204-1583》を設置した。

① 相談件数

(単位：件)

	合計
令和4年度(参考)	3,571
令和5年度	3,742

② 援助内容別件数(重複あり)

(単位：件)

助言	傾聴	他機関紹介	回答・説明	その他	合計
5	3,631	92	6	28	3,762

③ 所要時間別件数

(単位：件)

10分未満	10～29分	30～59分	60分以上	合計
907	1,953	877	5	3,742

④ 相談経路別件数

(単位：件)

保健所・保健福祉センター	7
行政機関	90
医療機関	81
市政だより	11
ポスター・ちらし	47
福祉関係機関	23
教育関係機関	5
市民便利帳	9
インターネット	257
既知	3,099
不明	77
その他	36
合計	3,742

⑤ 各區別件数

(単位：件)

中央区	704
花見川区	570
稲毛区	727
若葉区	204
緑区	506
美浜区	748
市内(区不詳)	164
市外	76
不明	43
合計	3,742

⑥ 相談種別件数

相談種別	延べ件数
児童・思春期に関する相談	3
高齢期に関する相談	3
アルコール依存症に関する相談	2
薬物に関する相談	0
ギャンブルに関する相談	1
社会復帰に関する相談	3,199
こころの健康づくりに関する相談	388
うつ病に関する相談	14
一般精神保健福祉相談	84
その他	48
合 計	3,742

7 組織育成

ボランティア組織、家族会、当事者の会、協力事業所、その他精神保健福祉に関する団体等の活動を支援した。

(1) 千葉県こころのボランティア・あおばへの活動支援

精神保健福祉ボランティアの育成と、あおばの活動支援を行った。

① 千葉県こころのボランティア・あおばの活動経緯

平成11年6月～7月に障害保健福祉課主催で開催した精神保健福祉ボランティア入門講座（全6回）の受講生の有志により発足したボランティア団体。

平成11年9月に「心のボランティアちば・千葉支部『あおば』」として事務局を保健所に置いた。こころの健康センター開設に伴い、平成13年7月から事務局をこころの健康センターに移した。平成18年度より「千葉県こころのボランティア・あおば」と名称変更し、活動している。

② 千葉県こころのボランティア・あおばの活動実績

定期活動	フリースペースの運営（原則第1、3木曜日）月2回 「あおばの風」発行年2回
イベント活動 開催・運営・手伝い	千葉県精神障害者卓球大会
	千精協「心のふれあいフェスティバル」
	千家連「ディライトフル・フェスタ」
	千家連「ふれあいボウリング大会」
	千家連「スプリングフェスティバル」
	千家連「音楽セミナー」
	フリースペースあおば「七夕会」「クリスマス会」
	千家連「こころの健康教室」 千家連「日帰り研修」
講師派遣	千葉県精神保健福祉ボランティア講座
会議・研修会等	定例会（毎月第4月曜日）
	総会（年1回）
	千葉県ボランティア連絡協議会
	千家連定例会 あおば研修会

③ 活動への支援

定例会に12回、「フリースペースあおば」に22回参加し、助言等を行った。

定例会の参加延人数 117名

フリースペースあおばの参加延人数 501名（当事者199名・ボランティア302名）

(2) 施設利用の援助

精神保健福祉に関係する諸団体への援助として、各団体の要請に応じ、施設の貸し出しを行った。
延べ貸し出し回数 738回、延べ利用人数3,790名

8 精神医療審査会の審査に関する事務

精神医療審査会の開催事務及び審査遂行上必要な調査、その他当該審査会の審査に関する事務を行った。

全体会を1回、合議体審査を21回開催した。

(1) 定期病状報告等の審査件数

区分	審査結果	(単位:件)
措置入院患者定期病状報告書	23	
医療保護入院届	1,208	
医療保護入院患者定期病状報告書	445	
合計	1,676	
	入院等は適当	1,608
	他の入院形態への移行が適当	0
	入院継続不要	0
	審査中(次年度に繰り越し・保留)	68

(2) 退院等請求の審査件数

区分	請求件数	審査件数	審査結果			審査中
			入院継続又は 処遇適当	他の入院形態への 移行が適当	入院不要又は 処遇不適当	
退院請求	68	45	44	0	1	11
処遇改善請求	18	9	9	0	0	4
合計	86	54	53	0	1	15

(3) 合議体別審査件数

合議体	開催回数	報告書等 審査件数	審査件数内数			保留件数	保留割合	退院等の 請求審査 件数
			措置入院 者定期病 状報告書	医療保護 入院者の 入院届	医療保護 入院者 定期病状 報告書			
A合議体	7回	579	5	397	177	74	12.8%	25
B合議体	7回	572	11	389	172	52	9.1%	12
C合議体	7回	525	7	422	96	38	7.2%	17
合計	21回	1,676	23	1,208	445	164	9.8%	54

* 保留件数は、毎回の審査会で保留になった累積件数

9 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療(精神通院医療)

精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費(精神通院医療)公費負担の判定会を20回開催した。

(1) 精神障害者保健福祉手帳の判定結果

(単位: 件)

1級	2級	3級	非該当	(返戻)	合計
883	3,793	1,918	46	(168)	6,640

(2) 自立支援医療費(精神通院医療)の判定結果

(単位: 件)

該当	非該当	(返戻)	合計
11,179	3	(245)	11,182

10 うつ・自殺予防

うつ・自殺予防の取り組みとして、認知行動療法、人材育成や講演会等を実施した。

(1) 対面型相談支援事業（うつ病集団認知行動療法）

在宅のうつ病患者を対象に、うつ病やうつ症状等の改善及び再発防止を支援し、社会復帰の促進を図ることを目的に、集団での認知行動療法を実施した。

こころの健康センターにおいて、千葉大学子どものこころの発達教育研究センター所属の公認心理師が実施した。

1クールを12回実施 期間9月～12月 3名参加 延べ30名

(2) 人材育成事業

① ゲートキーパー養成研修

悩んでいる人や自殺のサインを発している人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなげて見守るゲートキーパーを養成するため、研修会をこころの健康センターにおいて実施した。

年月日	テ ー マ	対 象	講 師	参加者数
R5. 8. 24	ゲートキーパー養成研修～子どもたちの心の声に気づき、聴き、つなぎ、見守る支援～	小学校・中学校・高等学校 特別支援学校等教職員	NPO 法人 志木市精神保健福祉をすすめる会 理事長 上田 将史	22名
R5. 9. 29	ゲートキーパー養成講座 ～大切な人の命を守ろう～	市民	船橋北病院 公認心理師・臨床心理士 増田 直子	26名
R5. 12. 1	事例検討会（ゲートキーパー指導者養成研修）	小学校・中学校・高等学校 特別支援学校等教職員	船橋北病院 公認心理師・臨床心理士 増田 直子	10名
R6. 1. 16	ゲートキーパー養成講座 あなたの気づきが命をつなぐ～誰もが安心して暮らせる千葉市を目指して～	庁内職員・関係機関職員	船橋北病院 公認心理師・臨床心理士 増田 直子	21名

計 4回 79名

② 子ども・若者メンタルヘルス研修

若者層への自殺対策として、千葉市内の大学生を対象にゲートキーパー養成研修を実施した。

年月日	テ ー マ	対 象	講 師	参加者数
R5. 7. 26	こころのサポーター ゲートキーパー養成研修 ～メンタルヘルス・ファーストエイドによる支援～	淑徳大学学生	NPO 法人 志木市精神保健福祉をすすめる会 理事長 上田 将史	100名

(3) 普及啓発

① うつ病対策講演会

こころの健康増進ならびにうつ病の正しい知識と理解を深めるための普及啓発を目的とした講演会をこころの健康センターにおいて開催した。

年月日	テ ー マ	講 師	参加者数
R5. 11. 14	こころの健康のために 認知行動療法を活用しよう	千葉大学医学部附属病院 認知行動療法センター センター長 千葉大学大学院医学研究院 認知行動生理学 教授 千葉大学子どもこころの発達教育研究センター センター長 清水 栄司	61名

② 自殺予防リーフレット

リーフレット「こんなときゲートキーパーが必要です！」をゲートキーパー養成研修等で配布した。

(4) うつ病当事者の会

参加者同士が支えあい、回復につながることを目指す自助グループ。職員がファシリテーターとなり、自己理解と自己表現を目的としたグループワークを実施した。

年2回実施 延べ参加人数10名

1 1 依存症対策

(1) アルコール・薬物関連精神保健福祉相談

精神科医師によるアルコール・薬物関連の相談を全14回実施した。
相談件数22件

精神保健福祉士、公認心理師等による相談を随時実施した。
相談者延べ人数256名（再掲）

(2) ギャンブル等依存症相談

司法書士、精神保健福祉士によるギャンブル等の依存症の相談を全18回実施した。
相談件数39件

精神保健福祉士、公認心理師等による相談を随時実施した。
相談者延べ人数182名（再掲）

(3) 依存症支援者教育研修

依存症当事者・家族への直接支援に携わる庁内職員及び関係機関の職員を対象に、当事者や家族に対する具体的な言葉かけや態度、対応方法の習得を目的とした研修を実施した。

年月日	テーマ	講師	参加者数
R6. 1. 22	講義「アルコール依存」～精神科医の視点から～ 家族の体験談	千葉県総合救急災害医療センター 精神科医 花岡 晋平	45名
R6. 2. 8	「クレプトマニア（窃盗症）」 ～盗癖に対する支援について～	池袋榎本クリニック 臨床心理士 森田 太樹	43名

計2回 参加者88名

(4) 普及啓発

① 依存症講演会

依存症に対する正しい知識、相談や治療の道筋に対する知識の普及を図るため、講演会を開催した。

年月日	テーマ	講師	参加者数
R5. 9. 25	講演「薬物依存を知る」 ～覚せい剤・大麻・処方薬・市販薬等依存の症状、治療 そして社会復帰～ エイサー演舞	同和会千葉病院 精神科医 谷 淵 由布子 千葉ダルク	37名

(5) 当事者や家族を対象としたもの

① アルコールミーティング

第1部 当事者・家族「分かち合いの時間」

第2部 家 族：学習会 講師：船橋北病院精神保健福祉士

当事者：座談会 ファシリテーター：千葉県断酒連合会会長

年間12回実施 延べ参加者数118名

② 依存症治療・回復プログラム

薬物・アルコール依存や乱用からの回復を希望する当事者を対象に、「SMARPP」を用いたプログラムを実施した。

年間18回実施 延べ参加者数102名

事業概要
令和5年度

千葉県こころの健康センター

〒261-0003

千葉県美浜区高浜2-1-16

TEL 043(204)1582

FAX 043(204)1584

e-mail kokoronokenko.HWS@city.chiba.lg.jp